

福岡県地域福祉活動職員連絡会 研修事業

住民主体を改めて考える研修会

課題を抱えた人を地域福祉の担い手に！本当の支え合いを考える

*と き 2014年3月11日(水) 10:00～16:30

*ところ 福岡商工会議所4階 (〒812-8505 福岡市博多区博多駅前 2-9-28)

まず、次の記事をお読みいただきたいと思います。

「誰かの役に立てている」と実感できる時、喜びや充実感がありませんか？

先日、県外のある社会福祉協議会の方と情報交換をする機会がありました。

この社協では、「きんよう喫茶」という取り組みをされています。以前市内にはホームレスの方が約60名おられ、市や社協が生活保護やアパートへの入居等の支援を行ない、今では路上生活者はほとんどいなくなったそうです。

しかし、家はあっても、地域とのつながりはなく、孤立している状況は変わりません。そこで、ボランティアグループと協働して毎週金曜日に喫茶を開き、交流や相談会をされているそうです。

そして、最近では、元ホームレスの方が、ボランティアとして「きんよう喫茶」の運営をお手伝いされているとのこと。今度は支える側になられているのです。きっと喜びや充実感を感じられているのではと思います。

このように、「支えられている人が、今度は支える側になるような関わり方」や、「誰かの役に立てている、と実感してもらえるような関わり方」が、“支える。”ということかなとも思いました。

ということは、「誰かの役に立てている」と感じる時は、誰かに支えられているということかもしれませんね。

これは、ある市社協の広報紙に書かれていた記事の抜粋です。

このように、「人を支える」という究極の目標は、「支援を受ける人」から、「支援を受けつつも、誰かの役に立つ」という状態をつくりだすことではないかと思うのです。

本研修会では、こうした支援の循環や私たちが行うべき支援のカタチを考えます。そして、真の意味での「住民主体」とは何か、住民主体という時の「住民」とは誰かを問い直し、本当の支え合いのあり方を探ります。

- 参加定員** 100名（先着順）
- 参加費** 無料（懇親会参加費：3,500円）
- 対象者** 社会福祉協議会職員、社会福祉研究者、社会福祉系大学生
※いずれも、県内外問いません。

内 容

- * 10:00～開会・あいさつ
- * 10:15～基調講演「エンパワメントを引き出す社会福祉ワーカーの姿勢論」
講師 中村秀一先生（九州大谷短期大学 福祉学科 教授）
- * 11:15～分科会
分科会①「コミュニティソーシャルワークの視点」
分科会②「グループワークの視点」
分科会③「コミュニティワークの視点」
- * 12:15～昼食休憩
- * 13:15～分科会の続き
- * 14:45～全体会・分科会の報告
- * 15:10～講演「改めて“住民主体”とは？
本当の支え合いと、支援の循環の仕組みづくりを考える」
講師 高石伸人氏（ちくほう共学舎「虫の家」事務局長）
- * 16:30～まとめ・閉会
- * 17:15～懇親会

その他 昼食オプションとして、12時45分から寝たきり芸人あそどっぐ氏お笑いライブを開催します！（昼食はご持参ください）

申込み 2014年2月27日までに下記まで。
※FAXで申し込みの際は、別紙申込票をご利用ください。
※TEL、メールの場合は①氏名、②社協名（または所属）、③職場住所・電話番号、④社協での担当業務又は役職、⑤経験年数（社協職員のみ）、⑥分科会の第一希望と第二希望をお知らせください。

主催 福岡県地域福祉活動職員連絡会

申込先・問合せ 筑後市社会福祉協議会 担当：ト部（ウラベ）
〒833-0032 福岡県筑後市野町 680-1
TEL 0942-52-3969 FAX 0942-53-6677
Mail urabe@chikugo-shakyo.or.jp

分科会の紹介

分科会①「コミュニティソーシャルワークの視点」

【ご案内】 「個」を支える視点、また「自分らしく生きる」ということを実現するための視点、また「自分らしく生きよう」と思えるための周りの関わりを考えます。

○事例報告「“支援対象者”が住民の1人として自分らしさを取り戻すまで」

報告者 風保憲さん（淡路市社会福祉協議会／兵庫県）

○事例報告「寝たきりのボクがお笑い芸人になったその理由～自分を生きる術～」

報告者 あそどっぐ氏（ねたきり芸人／熊本県）

○助言者 前田浩明さん（麻生医療福祉専門学校 福岡校）

○進行 建部正雄さん（香春町社会福祉協議会）

松尾大輔さん（直方市社会福祉協議会）

分科会②「グループワークの視点」

【ご案内】 ミッションを持ったグループでの活動の中で、参加者同士の相互作用から生み出されるもの。それは一。グループワークの視点から各個々人のエンパワメントを引き出すその視点を探ります。

○事例報告「本当の“社会参加”をつくる～ひきこもりの青年たちとの関わりから～」

報告者 國武竜一さん（うきは市社会福祉協議会／福岡県）

○事例報告「当事者同士の交流から生まれたもの～自信と自立と自分らしさ～」

報告者 芹田洋志さん（NPO法人しょうがい生活支援の会すみか／佐賀県）

○助言者 中村秀一さん（九州大谷短期大学 福祉学科 教授）

○進行 中川史高さん（うきは市社会福祉協議会）

藤本直子さん（北九州市社会福祉協議会）

分科会③「コミュニティワークの視点」

【ご案内】 住民主体が、「支援者主体」になっていないか。コミュニティワークの展開において課題を抱えた方を主役にした活動が行えているか。課題を抱えた方自身を主役にしていくためにどのような視点が必要か、考えます。

○事例報告「自分は必要な人間と実感できるよう・・・

ホームレス支援の現場から支え合いのあり方を考える」

報告者 鳥海洋治さん（福山市社会福祉協議会／広島県）

○事例報告「地域ぐるみの健康づくりと省エネ活動」

報告者 今西良一さん（葉山ヘルスケア・省エネ共和国 大統領／福岡県）

○助言者 萩沢友一さん（西南学院大学 講師）

○進行 藤野圭亮さん（久山町社会福祉協議会）

園木崇嗣さん（春日市社会福祉協議会）



参加申し込み FAX：0942（53）6677（筑後市社協）

※送付文書は必要ありません。

※電話・メールでも申し込みを受け付けています。研修案内をご参照ください。

県地職連研修事業

住民主体を改めて考える研修会

《参加申込み書》

社協名			
住所			
電話番号		FAX 番号	

	氏名	経験年数	担当役職	分科会希望		懇親会出欠
				第1希望	第2希望	
例	地職連 太郎	5年	地域福祉活動	③	①	○
1						
2						
3						
4						

備考欄

備考欄

会場へのアクセス

研修会場 福岡商工会議所

住所：〒812-8505 福岡市博多区博多駅前 2-9-28

TEL：092-441-1110 FAX：092-474-3200

JR 博多駅 博多口より徒歩 10分

地下鉄祇園駅 5番出口より徒歩 5分

駐車場は立体有料駐車場があります。(30分 100円)

